



大 都 発 第 2 6 4 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

大洗町長 小谷 隆亮



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号で依頼のあった上記のことについて、
別紙のとおり回答致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

茨城県大洗町

- ・補助金の対象となる道路の規格等の要件を全国一律とせず、地域の実情にあったものとする。
- ・歩道設置等交通安全施設の整備を推進する。
- ・狭隘道路の解消。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

大洗町は年間580万人が訪れる観光地であり、夏期の海水浴シーズンや春のゴールデンウィーク等において、町内の幹線道路は慢性的な渋滞が発生している。特に、帰路となる午後は、国道51号に接続する東水戸道路水戸大洗ICを先頭に、大洗海岸などの海浜部まで約6km車がつながる状態である。その結果、抜道を探し、歩道の無い幅員の狭い生活道路に進入する車が多数見受けられ、交通安全上も問題が生じている。更に、大洗町は、東は海、北は那珂川、西は涸沼川及び涸沼と三方を水面に囲まれており、隣接する水戸市やひたちなか市へ行くには幹線道路の橋を渡らねばならず、生活道路の混雑と共に、住民の日常生活にも支障をきたす状態となっている。

また、本年12月20日には北関東自動車道の真岡IC～桜川筑西IC間が開通し、東北自動車道から東側は全線通行可能となるとともに、未開通である東北自動車道西側の太田桐生IC～岩舟JCT(仮)間が平成23年度に開通予定である。これにより、前橋から常陸那珂港までの北関東自動車道が全線通行可能となり、群馬県・栃木県方面からの来遊客の増加が見込まれ、更なる交通渋滞が懸念される。

○課題

北関東自動車道の全線開通に伴い、群馬県・栃木県方面からの来遊客の更なる増加が見込まれるので、交通渋滞を緩和するため、東水戸道路水戸大洗ICへの進入方法の改善と共に、高速道路の関連として、北関東自動車道(東水戸道路)水戸南ICへ車を誘導するための関連道路の整備、更には、涸沼川への新たな橋の建設により、交通を分散させる必要がある。

北関東自動車道の全線開通による更なる来遊客の増加にも対応して、交通渋滞の発生を抑制し、観光客の利便性の向上を図ると共に、住民が安全で安心して利用できる道路の整備。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④
茨城県大洗町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・交通渋滞の解消	東水戸道路水戸大洗ICへの進入方法の改善 大洗町と水戸南ICを結ぶ道路の整備 (現道幅員狭小) 都市計画道路若見屋平戸線の整備 (現道は狭く、歩道も無い状況)	ICへの進入がスムーズになることにより、交通渋滞の緩和が図れる。 水戸南ICへの車の誘導が容易になり、交通が分散され、交通渋滞の緩和が図れる。 歩道が設置されることにより、歩車分離となり安全性の向上が図れる。	一部、小・中学校の通学路となっている。